＜様式1＞

平成 29年 08月 31日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	サスティナハウス
グループの名称	一般社団法人建設業総合支援機構
直近採択グループ番号	04-0554-0294

（グループ代表者）

代表者名	本橋　秀之　代表者印
代表者所属先	一般社団法人建設業総合支援機構
代表者所在地	神奈川県横浜市保土ケ谷区星川二丁目14番27号
代表者電話番号	045-342-0292

（グループ事務局）

事務局事業者名	一般社団法人建設業総合支援機構
事務局担当者名	本橋　秀之　印
事務局郵便番号	240-0006
事務局所在地	神奈川県横浜市保土ケ谷区星川二丁目14番27号
事務局電話番号	045-342-0292
事務局FAX	048-487-7144
事務局担当者E-mail	info@kssk-or.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	サスティナハウス
２．グループの名称(必須)	一般社団法人建設業総合支援機構
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0554-0294
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	全国
５．結成年(必須)	2016　年
６．グループ代表者名(必須)	本橋　秀之
７．グループ代表者の所属先(必須)	一般社団法人建設業総合支援機構
８．グループ代表者所在地(必須)	神奈川県横浜市保土ケ谷区星川二丁目14番27号
９．グループ代表者電話番号(必須)	045-342-0292
１０．グループ事務局事業者名(必須)	一般社団法人建設業総合支援機構
１１．グループ事務局担当者名(必須)	本橋　秀之
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	240-0006
１３．グループ事務局所在地(必須)	神奈川県横浜市保土ケ谷区星川二丁目14番27号
１４．グループ事務局電話番号(必須)	045-342-0292
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	048-487-7144
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@kssk-or.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	2	地域材予定の北米産SPF材、海外材等は国内大手製材会社供給の為登録は難しく事業者には含んでいない。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	3	地域材予定の北米産SPF材、海外材等は国内大手製材会社供給の為登録は難しく事業者には含んでいない。
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	1	国内製材業者からパネル工場に直接納入される地域材は、建材流通業者を経由しない場合がある。
Ⅳ．プレカット	5	
Ⅴ．設計	2	
Ⅵ．施工	9	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	4	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
Ａ．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	■　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	■　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	■　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	使用する地域材は必須項目です。				

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		30	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	30	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	5	戸
		申請が未確定（上限100万円）		15	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	15	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	3	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		15	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	15	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	3	戸
		申請が未確定（上限100万円）		6	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	6	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
		申請が未確定（上限100万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		申請が未確定（上限150万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		申請が未確定（上限165万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実		棟
				㎡
		申請が未確定		棟
				㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	未経験工務店を優先するが、事務局受付受理優先とする。

E. 平成２８年度の執行状況（必須）

長寿命型（長期優良住宅）

当初予算	採択戸数	14	戸	交付申請戸数	9	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	9 戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸

高度省エネ型（認定低炭素住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1 戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸

高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1 戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）

当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸

優良建築物型

当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	戸
当初予算	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
地域材予定の北米産SPF材、海外材等は国内大手製材会社供給の為登録は難しく事業者には含んでいない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
11	Ⅰ－ 2	株式会社ウッディーコイケ		369-1871	埼玉県秩父市下影森１８１番地	0494-22-2821
13	Ⅰ－ 5	協和木材株式会社		135-0015	東京都江東区東陽5丁目30番13号東京原木会館	03-5857-5225
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
地域材予定の北米産SPF材、海外材等は国内大手製材会社供給の為登録は難しく事業者には含んでいない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
11	Ⅱ － 2	株式会社ウッディーコイケ		369-1871	埼玉県秩父市下影森１８１番地	0494-22-2821
13	Ⅱ － 5	協和木材株式会社		135-0015	東京都江東区東陽5丁目30番13号東京原木会館	03-5857-5225
34	Ⅱ － 7	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1番1号	0823-71-7141
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
国内製材業者からパネル工場に直接納入される地域材は、建材流通業者を経由しない場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
11	Ⅲ － 2	株式会社ウッディーコイケ		369-1871	埼玉県秩父市下影森１８１番地	0494-22-2821
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
11	Ⅳ － 2	株式会社ウッディーコイケ		369-1871	埼玉県秩父市下影森１８１番地	0494-22-2821
12	Ⅳ － 3	株式会社シー・エスランバー		262-0033	千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-16-3相葉ビル	043-213-8810
11	Ⅳ － 11	ハイビック株式会社 大里事業所		369-0108	埼玉県熊谷市船木台4-6	0493-36-2238
10	Ⅳ － 12	ハイビック株式会社 渋川事業所		377-0027	群馬県渋川市金井3037-7	0279-30-2101
14	Ⅳ － 39	ハイビック株式会社 厚木工場		243-0211	神奈川県厚木市三田3232	046-243-5568
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
14	Ｖ － 31	富士ソーラーハウス株式会社		227-0054	神奈川県横浜市青葉区しらとり台２－９	045-988-1231	○	
11	Ｖ － 36	ハートムリビング株式会社		344-0052	埼玉県春日部市梅田二丁目４番３６号	048-752-8106	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							9	○	○
11	Ⅵ － 9		有限会社大勝		350-2223	埼玉県鶴ヶ島市高倉1145番地13	049-299-8823	○	
8	Ⅵ － 30	61177	村松建築		300-0333	茨城県稲敷郡阿見町若栗２４６８－２	02-9888-1076	○	
14	Ⅵ － 31	42507	富士ソーラーハウス株式会社		227-0054	神奈川県横浜市青葉区しらとり台２－９	045-988-1231	○	
12	Ⅵ － 32	61456	株式会社佐久間工務店		263-0014	千葉県千葉市稲毛区作草部町１３４９番地１	0432-54-4511	○	
8	Ⅵ － 34		家づくりナイスホームズ株式会社		310-0852	茨城県水戸市笠原町245番地の1	029-305-3688		○
13	Ⅵ － 35	41926	株式会社エコリフォーム		135-0047	東京都江東区富岡一丁目22番29号	03-3641-4134		○
11	Ⅵ － 36	41722	ハートムリビング株式会社		344-0052	埼玉県春日部市梅田二丁目4番36号	048-752-8106	○	
11	Ⅵ － 37	61411	有限会社和田工務店		349-1103	埼玉県久喜市栗橋東三丁目６番１２号	04-8052-1970	○	
14	Ⅵ － 38		株式会社IKホーム		212-0016	神奈川県川崎市幸区南幸町三丁目118番地9	044-201-9715		○
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
11	Ⅵ － 9		有限会社大勝	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
8	Ⅵ － 30	61177	村松建築	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○		
14	Ⅵ － 31	42507	富士ソーラーハウス株式会社	3 戸	3 戸	1 戸	2 戸	0 戸	1 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○		○	
12	Ⅵ － 32	61456	株式会社佐久間工務店	10 戸	10 戸	9 戸	5 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	
8	Ⅵ － 34		家づくりナイスホームズ株式会社	20 戸	20 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡		○	○	○	○
13	Ⅵ － 35	41926	株式会社エコリフォーム	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
11	Ⅵ － 36	41722	ハートムリビング株式会社	2 戸	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
11	Ⅵ － 37	61411	有限会社和田工務店	5 戸	5 戸	4 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○		
14	Ⅵ － 38		株式会社Kホーム	15 戸	28 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅶ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅶ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
13	Ⅶ － 1	創線株式会社		103-0027	東京都中央区日本橋2-9-1竹一ビル8階	03-6262-6155
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
13	Ⅷ － 26	一般社団法人ハウスワランティ		130-0026	東京都墨田区両国三丁目25番5号JEI両国11階	03-5638-0086
14	Ⅷ － 27	一般社団法人建設業総合支援機構		240-0006	神奈川県横浜市保土ケ谷区星川二丁目14番27号	045-342-0292
13	Ⅷ － 28	住宅保証機構株式会社		105-0011	東京都港区芝公園3-1-38芝公園三丁目ビル	03-6435-8870
27	Ⅷ － 29	株式会社e-ハウスプロジェクト		541-0052	大阪府大阪市中央区安土町2-3-13大阪国際ビルディング31階	06-7701-3763
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）サスティナハウス	（地域型住宅供給対象地域）全国
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）一般社団法人建設業総合支援機構	（結成年）2016 年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0554-0294	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	将来の増改築リフォームを見据えた持続可能住宅（サスティナブル）を基盤に間取り変更等の可変性ある住宅建築を行う。 長期優良住宅の性能および基準を満たす住宅、または認定低炭素住宅の基準を満たした住宅であることを最低基準ルールとする。 建築地の気候風土に合わせた耐久安全性能（地域による地盤・構造）、可変持続性能（維持・住宅履歴）、エネルギー性能（温熱環）、快適性能（バリアフリー、シックハウス等）を盛り込む。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	建築地域の気候風土を考慮した断熱材の選定を地域ごとに検討し採用する。 主要構造材においてはグループの指定する地域材の活用を推進する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	当グループ内で協議し選定した日本の伝統技術や地域材を積極的に取り入れた「意匠プラン集」「設計マニュアル」「共通仕様書」を作成しグループ会員が積極的に共有活用し、地域のブランド力を高める	◎
④ ①～③の背景	当グループは長期優良住宅又は認定低炭素住宅の基準を満たした持続可能（サスティナブル）な住まい造りをテーマに、長寿命な住まい創りを推進するブランド住宅として「サスティナハウス」を考案した。 優良な建材や技術を効率よく採用するには、共有の基準・仕様・設計マニュアル・納まり等を規格化することが重要であると共に、ユーザーへ情報発信をすることにより、比較的採用し易い環境を作ることができると考えた。 グループとして地域に根ざしたブランド住宅「サスティナハウス」の建築を推進する。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	「一般社団法人建設業総合支援機構」専用ホームページに本グリーン化事業の特設ページを作り、ユーザーに持続可能住宅「サスティナハウス」を掲載し、設計構成員を主体に利活用促進を昨年5月より実施している。 地長期優良住宅対応のプラン集及び共通仕様書の配布を行い「サスティナハウス」の普及促進に努めている。	◎

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループでは「サスティナハウスプラン集」「設計マニュアル」「サスティナハウス共通仕様書」において、寸法の規格化を行っている	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：ホームページ内に会員専用ページ（ID及びパスワードでログイン）を設置し、会員への情報共有及び必要書類のダウンロード等が可能な、事務作業の効率化を図る。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループでは「サスティナハウスプラン集」「設計マニュアル」「サスティナハウス共通仕様書」において、長期優良住宅基準以上の標準仕様の設定を行っている	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループでは「サスティナハウスプラン集」「設計マニュアル」「サスティナハウス共通仕様書」において、資材調達の共同化をルール付けており、推奨している。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：事務局が工事現場の進捗状況や調達における進捗状況を共有することで事務作業の合理化を図る。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：事務局、プレカット業者、流通業者、施工業者、設計事務所を中心に「木造生産体制推進委員会」を発足し、グループ情報の共有を図る。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：交付申請書および実績報告書等に関する資料取りまとめ、支援室への提出及び質疑窓口、各メンバーへの指示確認および告知等情報配信、各種研修会の企画開催、長期優良住宅および認定低炭素住宅における申請サポート窓口	◎
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：施工（構造躯体）の品質向上と標準化を図るため、共通施工マニュアルをホームページ内会員専用ページで共有し、会員はダウンロード可能な仕組みとする	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：当グループ共有の施工チェックシートを作成し、ホームページ内会員専用ページで共有し、会員はダウンロード可能な仕組みとする	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：生産量・在庫量を含め、価格情報について「製材・プレカット・流通3者連絡会」を設置し、情報の共有化を図りホームページに掲載する	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：グループ研修会を2ヶ月に1回（最低年6回以上）開催し会員の技術向上を図り、ユーザー向けの構造見学会及び完成見学会の開催	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	「サスティナハウス」は長期優良住宅対応（耐震等級2以上）のプランを基盤に、将来の間取り変更において、構造を考慮することなく自在に間取りが変更できる持続可能（サスティナブル）なプラン集を作成し、リフォーム対応の際の顧客の自由度を高める。				◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）サスティナハウス	（地域型住宅供給対象地域）全国
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）一般社団法人建設業総合支援機構	（結成年）2016　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0554-0294	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	住宅履歴蓄積情報において、住宅履歴蓄積情報システム「いえかるて」の登録を全棟必須とする。			◎
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：いえかるて等の履歴システム活用を全棟義務付けている	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：当グループと連携している建設に特化した一般社団法人等の情報機関の協力により勉強会を2カ月に1度の頻度で実施する。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：施工業者が実績報告書提出の際に各物件ごとに事務局が確認している	◎
	② メンテナンス基準の整備				
	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：当グループ施工業者の指定時期（例：1年・3年・5年・10年・15年・20年・25年・30年）における点検実施と点検結果の蓄積方法および保管方法を当グループ事務局に提出する	◎
	②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：各物件毎に顧客が加入する住宅瑕疵担保責任保険の規定内容に基づき実施する	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局が住宅の定期管理および定期点検時期の確認をおこなう。	◎
	③ 住まいの管理				
	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：当グループ施工業者主催の構造見学会および完成見学会等で、住宅の自己管理方法を住まい手に享受する。	○
	③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：当グループ施工業者主催のイベント等で、施工体験会を開催し、体験を通じて顧客の住まいの維持における啓蒙活動とする。	○
	③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：顧客に建物の構造・断熱・維持をはじめ住宅ローン、生命保険や損害保険の見直しなどを含め、専門家による暮らしに直結した幅広い内容の相談会を実施する。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：事務局、施工業者、設計事務所を中心に維持管理検討委員会を発足し情報の共有を図る。	○
	⑤ その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：当グループ施工業者と住まい手をつなぐ専用のSNSを開設し建物で不具合があれば即時対応できるよう随時情報を共有する。	○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ内の維持管理検討委員会において、引き継ぎ可能な施工業者の選定をおこない、ユーザーに紹介する。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：地盤および建物の瑕疵における有識者による勉強会を開催する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		◆入居者の維持管理メンテナンス充実を図るために「ハッピーホームサポート（24時間駆付けサービス・すぽっと団信・おうちポイント）」の活用を推奨する。			○

エ．グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：未経験工務店を対象とした実務説明会の開催や、長期優良住宅および認定低炭素住宅の施工現場見学会の開催を実施する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅および認定低炭素住宅の永続的な安定供給のために、施工後のメンテナンス及び定期点検の様子等をホームページで情報配信し顧客を主体に会員相互で共有する。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：当グループの定期勉強会の開催の際に、施工実施における進捗報告会を実施する。	○
	③-1 需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：地域材等の建材の在庫状況や販売価格等の情報を事務局に定期的に報告。また建材の特性、利点等をホームページで情報共有（原木供給、製材、プレカット、流通）する。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：優良住宅（長期優良住宅および認定低炭素住宅）を標準仕様としたグループ共通設計マニュアル及びプラン集を作成し積極的に活用。2020年には全棟優良住宅を目指している。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：建材情報を事務局に定期報告（原木供給、製材、プレカット、流通）、設計プラン集作成（設計、その他）、長期優良住宅の施工技術の習得に向けた勉強会参加（施工業者）	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　14	今年度の参加目標人数　15		◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　5	今年度の参加目標人数　8		◎
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：当グループは施工技術講習会参加を義務化しており、当グループホームの専用ホームページに省エネ技術講習会の情報を掲載する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：グループで協議し、先導的かつ合理性ある技術は積極的に採用する。	◎
	② 新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：勉強会および説明会を開催または参加し、有識者を交えグループの知識や技術の向上を図る。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		①当グループは優良住宅（長期優良住宅・認定低炭素住宅）の施工技術向上と共に、施工を行う工事現場の専門業者の安全管理を重視しており、当グループ事務局との連携により各施工業者主催の安全大会の実施（最低年1回）を義務付けており、工事現場の危険回避手法や万が一の事故における損害保険適用手順を含めた勉強会を開催する。②入居者の快適な住生活空間提供および建築工事従事者の健康意識向上の一環としてエッセンシャルオイル（認定純粋セラピー等級基準を満たすもの）の活用提案を実施する。			◎

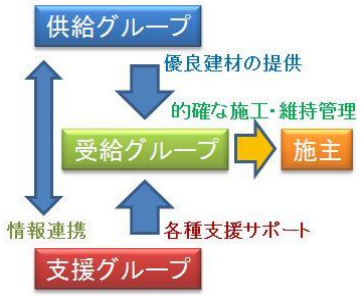
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）サスティナハウス	（地域型住宅供給対象地域）全国	
2．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）一般社団法人建設業総合支援機構	（結成年）2016 年	
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0554-0294		

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材（柱・梁・桁・土台）に50%以上のグループが指定する地域材とし、合法木材も可とする 出荷証明書「合法木材事業者認定書」の写しを提出	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	●供給グループ（原木供給業者、製材・プレカット業者、流通業者）は国産材および地域材等の優良な建材・木材の情報提供かつ品質証明や出荷証明のある高品質な材料を受給グループに供給する ●受給グループ（設計・施工業者）は、供給グループの優良な建材を用いて顧客に安心・安全な住宅を建設し、引き渡し後の維持管理に努める。 ●支援グループ（その他の事業者）は長期優良住宅の申請や認定低炭素住宅の申請サポートをはじめ、施主に優良な住宅を提供できる実務サポートや研修会、勉強会の定期開催の支援を受給グループに教授する。また、地域材の情報や利点がユーザー（施主）に直接届くよう、ホームページやチラシなどの販促ツールで工事進捗情報や見学会開催などの情報開示を行い、地域材活用の長期優良住宅・認定低炭素住宅の普及をグループ全体で実現する。 	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：製材・流通・プレカット事業者による「連絡協議会」を設置し、事務局が周知を行う。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：製材・流通・プレカット事業者による「連絡協議会」を設置し、事務局が周知を行う。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：見込みユーザーのリスト表を基に既に工事中の地域材出荷状況をグラフデータ化し比較表及び予測表を2カ月に1回の頻度で会員に配布する。	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（1畳換算）　30　枚	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数：75　坪	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）　10　枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）　10　枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：畳、和瓦、襖、障子をはじめとする日本の伝統技術を取り入れた専門技術者との連携をおこない、施工業者が主体となりユーザーに提案をしていく。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：畳、和瓦、襖、障子をはじめとする日本の伝統技術を取り入れた当グループ専用の意匠企画デザインプランを用意し、ユーザーに提案をしていく。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：古民家や日本の歴史深い建物を参考に持続可能（サスティナブル）を目指した地域型の企画プランを用意しユーザーに提案する。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：地域の暮らしにまつわる風習や持続可能（サスティナブル）な暮らしの情報を、建築地域の役所等で入手し、ホームページで紹介する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：建築地域の気候風土により異なる町並み形成の歴史をホームページで紹介し、ユーザーの建築地域の街並みの歴史を認知することに努める。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：地域により異なる日本の伝統的なデザイン、住まい方、街並みの歴史を盛り込んだ当グループ専用の企画プランを用意し、ユーザーに提案をしていく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		グループの施工業者、設計業者において、一般社団法人全国木材組合連合会が主催する「合法木材ナビ」の登録を義務付けし、適切な合法木材の活用及び推進を啓蒙することを必須とした。	◎

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	東北の自治体、また東北地域の施工業者等からの要請があれば、当グループ事務局からグループ内施工業者に要請内容を告知し、東北復興に向けての出向協力等の支援を行う。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本の自治体、また九州地域の施工業者等からの要請があれば、当グループ事務局からグループ内施工業者に要請内容を告知し、熊本復興に向けての出向協力等の支援を行う。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） サスティナハウス	（地域型住宅供給対象地域） 全国
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称） 一般社団法人建設業総合支援機構	（結成年） 2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0554-0294	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

当グループが施工する認定低炭素住宅及び高度省エネ型住宅は、全棟第三者評価機関による認定に適合する仕様を標準とする。
断熱地域区分に関しては関東を主体に4地域を基準として設定し、東北エリア等の施工に関してはその施工地域の断熱地域区分に沿った基準で計画し第三者評価認定を行うこと。
断熱工法は、充填断熱を標準とし断熱材は主に、高性能グラスウール又は同等以上の性能を有するものとし、床や土間についてはポリスチレンフォーム等又は同等以上の性能を有する材料とする。
開口部は、樹脂サッシ、LowEガラスを標準とし、3重LowEガラスなど高性能かつ同等以上の性能を有する材料も採用を認める。
照明は、低消費電力で長寿命であるLEDを標準とし、同等以上の性能を有する材料も採用を可能とする。
太陽光パネル、又は太陽集熱パネルを設置し、一次消費エネルギーの削減率(R値)を100%以上を目指すこと。
給湯器は、エコキュートまたはエコジョーズを標準とし同等以上の性能を有する機器も採用可能とする。
冷暖房機器は、高効率型を標準とする。
給水設備は、節水型を標準とし浴室は高断熱浴槽とする。
上記すべての項目をクリアし、かつ構造に影響なく持続可能（サスティナブル）な将来の間取り可変に対応した住宅「サスティナハウス」を提供してゆく。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。